

週刊時事経済

発行所
平市新川町17
時事経済新聞社
電 6415
発行人 田原 登
毎月 15日 発行
定価 1部 10円

勉強で評判の店
丸萬家具店
店 舗 平市四丁目
電 6663
工 場 平市白銀町
電 6634

平市議選の前哨戦

引退組も案外多い

草野地区は空前の激戦

今年、県議員、市町村長、市町村議会議員の選挙が春四月に相次いで行われる。その中で、お正月気分のお正月は、選挙の熱で眠っている。平市では市長選挙、県議員選挙の概要は前号で報導したので、今度は市議会議員選挙の概況を調べてみた。

定員三十六名の内、赤井の宮内書一氏が昨年亡くなったので、現在三十五名だが、このうち県議員選挙に小野栄一、上坂昇氏が打って出る。この二名の参議院議員選挙で連反に問われ、裁判で争っている。田嶋治、和良勲次郎、渡辺栄一、山部隆雄の四氏はどうなるか。町田氏は出馬しないと言明している。

このほか大泉信雄議長、小野善秋、諸橋正次、鈴木寅次郎、花沢久一郎、鈴木隆衛(出馬せず)、塩濱英氏ら長老組が態度をほっきりしない。

三市長、六町村長と

四市四町村議員選挙

概況

石城郡下で市町村長を改選するところでは、平市、勿来市、内郷市、小川町、遠野町、好間村、川前村、三和村、田人村の三市四町村で議員の改選が行われる。平市、内郷市、遠野町、好間村、川前村、田人村、三和村、田人村の四市四町村で議員の改選が行われる。平市、内郷市、遠野町、好間村、川前村、田人村、三和村、田人村の四市四町村で議員の改選が行われる。

県議選でも激戦か

石城郡下の県議選は五市と郡部に分かれて行われるが、どの市も定員を突破して激戦となる模様だ。

新産都市建設を推進しよう

渡辺達雄氏共産党高松久米雄氏も出る、結局定員三十六名に達する。新産都市建設(動力車)新案に達する。新産都市建設(動力車)新案に達する。新産都市建設(動力車)新案に達する。

一億円を突破

正月競輪空前の成績

正月の平競輪の売上は開始以来の一億突破という最高記録を樹立した。正月競輪は十二月三十一日から五日まで五回開催され、その結果売上は一億四千三百九十五万五千円を突破した。金成商工観光課長は「一億突破の悲願が成ったと大喜びである」と述べた。

各地有権者数

平市	四二、一四四
磐城市	三三、四二六
勿来市	二六、八七
常磐市	二四、四四二
内郷市	二〇、九一六
遠野町	五、六六四
好間村	三、四九五
川前村	四、二二六
三和村	二、九四三
田人村	一、九四三
小川町	一、九四八

飯野盛男

平市 高月一

昭和38年												1963年											
議長	川前村長	議員	田人村長	議員	三和村長	議員	好間村長	議員	遠野町長	議員	小川町長	議員	四倉町長	議員	勿来市長	議員	磐城市長	議員	常磐市長	議員	内郷市長	議員	平市長
会 員	永 山	会 員	蛭 田	会 員	合 津	会 員	大 木	会 員	蛭 田	会 員	鈴 松	会 員	新 木	会 員	北 津	会 員	木 代	会 員	磯 野	会 員	草 田	会 員	大 諸
田 忠	田 忠	田 忠	田 忠	田 忠	田 忠	田 忠	田 忠	田 忠	田 忠	田 忠	田 忠	田 忠	田 忠	田 忠	田 忠	田 忠	田 忠	田 忠	田 忠	田 忠	田 忠	田 忠	田 忠
一 郎	一 郎	一 郎	一 郎	一 郎	一 郎	一 郎	一 郎	一 郎	一 郎	一 郎	一 郎	一 郎	一 郎	一 郎	一 郎	一 郎	一 郎	一 郎	一 郎	一 郎	一 郎	一 郎	一 郎

賀正

県会議員

鈴木喜政

賀正

平市会議員

小野栄一

賀正

阿部政右衛門

賀正

猪狩四郎

平市田町

今は労働者の天国

むかしと比較して

新年随想

このお正月は風がなく静か、好天気に恵まれた。私は毎年正月二日、三日と賽フナ釣りに出掛けるのを例としていたが、今年はそれをやめて酔眼をみ開いて来た年賀状や元日の東京の新聞などを開いて見た。ろくな記事もないのにうんざりしててのうちに英國労働党きつての社会主義理論家のジョン・ストレーチ氏が書いた「資本主義の将来 繁栄と成功を続けよ」、社会主義移行の代償払えば一と題する記事に興味を感じて読んだ。その新聞にストレーチ氏の写真と自筆のサインも載っている。

私も青年のころこの社会主義という言葉にひかれた時代があったが、マルクスの予言やレーニンの理論に共鳴するものもたくさんあるが、またその反面暴力革命で権力の座にすわるうとする非道な意図がかくされ昔のロシアの国のような暴政を布かれていた国なら仕方がないが、人智の進んだわが国のようなところで、はそんな暴力革命は必要はないと思つてゐる矢先だけにストレーチ氏の所論に共鳴したのである。

俗な言葉で云えばマルクスは資本主義社会が発展し機械文明が高度に伸びれば資本家だけがふとり、労働者、農民の大衆は搾取されて貧困のどん底に陥入ると予言し、だから資本主義社会を打倒して共産主義の国家を建設しなければならぬと主張したが、第二次世界大戦以来敗れた国のドイツ、日本でさえも資本主義で

からで、取われぬ身近かなところで見ても、昔ならお正月にでもなつたら癪病患者が町のアチコチに出歩いて物乞いをする。これには流石の警察でもキタナイので手を挙げるという仕末だつた。ところが現在ではこうした愚者は一人も出てこないし、工場では宛ら牢屋のような職工の待遇で女工哀史が綴られ、永年勤続で表彰を受けた製傘工場的女工さんの幽霊のようになやせ細つた女工さんを見て義憤を覚えたことがあつたが、現在はそんな風景は全然見られな

いし、生活に行き詰つた社会の落伍者には生活保護費が国から支給されて何とか細いながらも煙を立てられるという現在である。

昔と今を比較したら労働階

抗労働者はフタ小屋みたいな住宅に住んで安い酒を飲んで至る処で喧嘩が起きていたのを知っている。ところが現在では炭礦労働者はテレビから電気洗濯機の現代三種の神器を初め写真機などをぶら下げている人が多い。昔と今の生活は天差である。にもかかわらず赤旗などをわたりに振り廻している。炭礦に対して国家の税金からどれほど援助しているかと思つたなら無茶なことはつゝむべきだと思つた。

尼子タクシ一の争議などでもあの大通りで赤旗を立てられ

ては附近の商店にも客がさっぱり寄りつかず迷惑したというのだが、争議は辺りに迷惑を掛ける文化人のように静かにすべきであらう。

こんなことを新年早々思つたのである。(デング生)

新舞子橋 殆んど完成

平市にまた一ツの名所

待望久しい夏井川河口の新舞子橋は殆んど出来上り来る二月下旬に竣工する。四倉沼の内間の海岸産業道路として、また太平洋ラインの一線でもあり観光道路としてこの新舞子橋の完成は大きな期待をかけられている。昭和三十四年十二月着工以来やうに二億の巨費を投じ平土木事務所で苦心し架橋したもので、延長三百四十メートル、巾七・六メートルの絢麗な橋でこの辺り新舞子の景勝とともに平名所の一ツとしてその景勝は一段と飛躍するワケである。

結果を説明、これをきこめて答申案として県に提出することになったが、この結構が県で予算化し実施されれば石城の農林、水産業が飛躍的發展を期されるものと見られ、診断の説明は注目されている。

八ツの信用組合で争つた第四回評審運動に第一位の好成績をあげ優勝したので、このほど佐藤知事から金製トロフィー（持廻り）商組合中央金庫から千圓を贈られた。去る三十五年にも優勝して再び今度で二回の優勝である。

農林、漁業を診断

福大教授陣が説明会

県では石垣地方の農林漁業の振興のため調査費五十万円を投じて福大教授安田初雄理學博士を団長に八名の教授団に依頼して昨年以來平、磐城、本間で地元関係者を集め診断

諸橋元三郎

平市五丁目

賀
正

平商工信組
貯蓄に優勝

平商工信用組合（理事長大谷要次郎氏）では、37年度の県下八つの信用組合で争った第四回貯蓄運動に第一位の好成績をあげ優勝したので、このほど佐藤知事から金製トロフィ―（持廻り）商組合中央金庫からく盾を贈られた。去る三十五年にも優勝しており、今度で二回の優勝である。

新年おめでとうございます

昭和38年

鈴木齒科医院

県齒科医師会副会長

鈴木 一男

平市田町 電四六七四

産科婦人科

井坂医院

井坂 久吉

井坂 浩二

平市田町 電二五五九

弁護士

大嶺 庫

平市十日丁目 電二六一〇

弁護士

高橋 嘉門

平市六町門 電四六五二

弁護士

市井 茂

平市田町 電二七〇六

弁護士

山野辺 政豪

平市一丁目 電四七六七

診療家畜

牛・馬・羊・豚・犬・猫

小野 寺家畜診療所

平市四軒町一九(二小前)

電二五四五

○イラー・建設機械・鉄骨
建築金物製作・据付工事

有信製機

株式
会社

代表取締役 松崎 隆吉

平市紺屋町 電三二一九

甲陽館

平市駅前 電318112

夏井川漁業協同組合

組合長 金古政通

武蔵鉄工所

遠山 勇

平市才植小路 電二五四

常磐化成

株式
会社

専務 駒木根 忠敬

外社員一同

平市大町 電三七六〇

平商工信用組合

商工組合中央金庫代理店

理事長 大谷 要次郎

平市十五丁目 電二〇二四

内郷支店長 佐藤 家

内郷駅前 電二〇八九

大谷味噌醸造

株式
会社

社長 大谷 要次郎

平市新町 電二四七四

丸共青果市場

平市称宣町 電五五四一

丸サ青果市場

平市五丁目 電二七九七・四〇九四

丸平青果市場

平市大町 電五四二

丸正青果市場

平市称宣町 電四九三四

平青果市場連絡協議会
事務所平市大町

美術商

東元洞

早川 元一

平市旧城跡一 電五六四九

鮫川漁業協同組合

組合長 沢田 源次
専務理事 森合 芳男

二つの世界を一つの平和へ
二つの階級を一つの繁栄へ

力行会 報徳社

平市紺屋町十一

株式会社力行会

観光部

電五五二

報徳物産株式会社

平市新川町一七 電六四一五

謹 賀 新 年

衆議院議員 木村 守江		衆議院議員 齋藤 邦吉		参議院議員 田畑 金光		県会議長 馬目 武之助		県会議員 小野 義一		県会議員 沢田 源次	
平市役所 市長 諸橋 久太郎 助役 樋口 正 収入役 山岸 清水		平市議会 議長 大泉 信雄 副議長 石山 一治 外議員 一同		平商工会議所 会頭 山崎 賢助 副会頭 坂本 昌蔵 同 坂井 清之助 専務 草野 四郎		平農業協同組合 組合長 佐藤 友寿		平市会議員 国井 一美 平市新川町 電二六九六		平市会議員 矢吹 大一郎 平市古銀治 電四六九三	
平市会議員 坂本 昌蔵 平市一丁目 電四三二一		平市会議員 松本 都広 平市平窪杉内 電二二一〇		平市会議員 渡辺 昇 平市草野字泉崎		平市会議員 強口 唯七郎 平市田町 電二二八二		平市会議員 四家 健雄 平市豊間 電豊間 四八		平市会議員 中野 二郎 平市塩 電二八四九	
平市会議員 遠藤 幸一郎 平市豊間 電豊間 四五		平市会議員 塩 庄造 平市鎌田 電四二五八		平市会議員 鈴木 良平 平市北目 電五九〇八		平市会議員 志賀 季三郎 平市高久 電高久 三		平市会議員 坂本 登 平市大越 電五二〇九		平市会議員 志賀 兼太郎 平市中神谷	

謹 賀 新 年

東北金属化学研究所

所長 鈴木 新兵衛

平市正月町 電 3221・2466

謹 賀 新 年

建設大臣登録 (ホ)2202

東部産業株式会社

取締役社長 菊地 泰次郎

平市谷川瀬字明治町30

防犯に力合せて
明るく町を
平地区防犯団体連合会
会長 諸橋 久太郎
会 長 齊藤 義明
平警察署長

謹 賀 新 年

株式
会社
加地和組

社長 川和徳一

外社員一同

平市童子町 電二九七〇

八木工業 株式
会社

社長 八木善吉

平市正月町 電三二一六

東洋酒販 株式
会社

社長 杉田松太郎

外社員一同

平市称宣町 電三一八八

合資
会社
菊田板金塗装店

代表
社員
菊田勝己

平市小太郎町 電二八八七

レストラン

サロン

平市銀座 電二五九二

竹林病院

院長 竹林貞吉

平市十五丁目 電四一三一

山火事に御注意下さい

平 営 林 署

署長 小堀進

常磐フラインツシュ特約店

常磐紙業ダンボールケース特約店

阿部唯株式会社

平市四丁目 電二〇四五

平家具建具 組合工業

組合長 石山一治

平鉄工業 組合

理事長 関口義久

専務 松崎隆吉

主事 小橋正夫

平 観 光 協 会

会長 諸橋久太郎

副会長 大久保信雄

同 山崎賢夫

同 野崎理夫

同 常磐地区観光連盟

同 会長 平市長 諸橋久太郎

同 副会長 磐城市長 三田代義勝

同 内郷市長 沼田一夫

同 常磐市長 磯野清治

同 勿来市長 赤津庄兵衛

同 北茨城市長 片寄富七

芹沢製材所

石城郡小川駅前 電小川四

御婚礼用家具調度品の
ご用命は是非当店で

永木タンス店

平市三丁目 電四五三五

石城地方県出先
機関連絡協議会

製氷・冷凍

株式
会社
小沢商店

勿来市須賀電七・一一八

すみや旅館

平市紺屋町
電三五五・四五三八

平飲食業会

同 副会長 鈴木藤子

同 会長 鈴木武松

平市建設業組合
平市童子町4の18 電 4279

組合長 川和徳一

理事 岡田不二

同 渡辺房次

同 宮内佐藤

同 強口唯七

同 福田寛

同 常磐市長 谷川常吉

同 荻野右吉

同 常任監事 荻野右吉

同 常任監事 荻野右吉

同 常任監事 荻野右吉

同 常任監事 荻野右吉

同 常任監事 荻野右吉

同 常任監事 荻野右吉

同 常任監事 荻野右吉

同 常任監事 荻野右吉

同 常任監事 荻野右吉

同 常任監事 荻野右吉

同 常任監事 荻野右吉

同 常任監事 荻野右吉

同 常任監事 荻野右吉

平消防署

署長 宮沢庸

平市消防団

同 副団長 藤岡倉田

同 団長 片塩倉田

同 副団長 周儀武政

同 団長 周儀武政

同 副団長 周儀武政

同 団長 周儀武政

同 副団長 周儀武政

同 団長 周儀武政

同 副団長 周儀武政

同 団長 周儀武政

同 副団長 周儀武政

同 団長 周儀武政

同 副団長 周儀武政

同 団長 周儀武政

同 副団長 周儀武政

小児科

三井医院

平市田町 電二六一五

内科

高久医院

平市紺屋町 電二五一三

株式
会社
岡本ゴム工業

福島工場

社長 岡本己之助

石城郡小川町 電八・二八・三八

ゼネラル石油株式会社
日立セメント株式会社
プリンスホテル株式会社
特約店

株式
会社
大丸

社長 横山徳男

本社 平市才植小路
事務所 内郷市御台境字立町
営業所 平・小名浜・四倉・日立・郡山

小松美術印刷所

社長 小松絃三郎

平市才植小路 電三七八五

平チップ工業 株式
会社

平市大館 電三六七三

石城
地区
生命保険協会 員

▽朝日(平) 常磐安正(磐城) 及川信夫(協

栄(平) 坪井寛(住友) 結城鬼丸(第一

(平) 津田 博(東洋) 坂本善次郎(磐城)

遠藤一雄(勿来) 齊藤勝男(平営業所) 三浦

政蔵▽大同(石城) 菊地定義▽千代田(平)

大河原完▽東京(平) 山口芳郎▽日本(平)

曾我正雄(磐城) 梅津幸平▽明治(平地方部

(本田幸兵衛(磐城) 水沢昇(平月掛) 村上

巖(磐城同) 中沢英光(常磐) 福本四郎▽住

友(勿来) 平子カッ子▽大同(平) 本田武男

▽役員会長津田博、副会長曾我正男、幹事及

川信夫、大河原完、結城鬼丸、坪井寛

謹賀新年

常磐交通自動車 株式
会社

平市菱川町三ノ一

社長 野崎喜八郎
専務 野崎秀幸
常務 野崎重雄
取締役 野崎理夫
同 野崎与一郎
同 鈴木タム
同 後藤ム
同 青田目弘

株式
会社
大野ペロー工業

社長 星野泰次

東京都港区芝三田四国町七
電話東京(451) 1268 4548

平塚工場

平塚市田村字土川原6601
電話 田村局 48・49

平市三丁目 電 4648

平消防の出初式

一千の団員威力を示す

平市消防団の出初式は六日行
った。午前六時半、千の団員
が集合、各分団ごとに無火災
祈願を行ない、八時から三十
米道路で開隊式、八時半から
公会堂日本間で優良団員など
を表彰した。

横川にフナ一万

夏井川漁協で放流

夏井川漁協組では昨秋中国
産のフナ五万尾を好間川と
丹波川に折半して放流したが
歳末に達して郡山方面からや
く七、八センチのフナ一万尾
を横川の仁井田附近に放流し
た。これは夏井川釣場として
の横川が整備されているの
で、フナ釣りのために放流
したもので、釣り師たちを喜
ばしている。

丹後沢で つり大会

漁村婦人の 実績発表会

夏井川漁協組(金古政連組合
長)では丹後沢の釣堀化をは
かり、七回漁村青年婦人グルー
プ

わすれられぬ
夕げの香り

肉の味

緑 屋

平市駅前中央通
TEL 2794
平市一丁目
TEL 2539

大塚の牛豚肉

お惣菜

平市堤ノ内
湯本上町電話(常務)二六五八
ニクヤサン

る記事で社会党の上坂昇氏に
民社党が共同戦線を張って上
坂氏を擁立することになった
とあるがこれは誤りで民社党
の町田龜治支部長は単独で
候補者を出すかどうか考慮中
だと語っていた。

内郷の成人式

内郷市の成人式は十五日午前
九時半から公会堂で開く。成
人者は男百八十一人、女二百
三十四人計四百一十五人で、成
人証書のほか花瓶が贈られる
また小学生の器楽演奏もある

モチを贈る

猪狩四郎さん

平市町実業家猪狩四郎氏は
昨年末に当り、家庭経済に意
まれぬ人々のためモチ(二俵
)を一つずつ二十戸に贈り
届け感謝された。

鮫川の晩鐘

新刊書成る

鮫川方面の歴史はサメ川、鮫
川の開発、それを成し上げた古
川伝一氏を中心に「サメ川の
晩鐘」という本が完成した。
荒川三氏が書いたもので、B
六版二百三十頁、三百六十円
鈴木光四郎先生も立派なもの
だと賞賛していた。

家具のデパート



丸ほん

平市三丁目 電 5131 (代表) ~ 3

西原式ネオ浄化槽

既設の人々から絶対の好評を受けて
おります。ただし高価であつたこと
が難点でしたが、今回従来の半額で
出来る様になりましたので一般家庭
からも歓迎されています。

工事と建材の店

株式会社 野内商会

平市四丁目 電(代)四一〇一

新年会の

ご用仰せ付け下さい

赤小路店 電二七二七
才徳小路店 電三〇三二

味じまん

甘太郎焼

真根井菓子店

平市銀座通り 電四〇二五

日立の家庭電器器具

テレビ ラジオ 洗濯機

那須ポンプ電気部

平市童子町一三
電六〇一七・三八〇八

財団法人 松村病院

診療科目

院長 松村

外科 部長 長谷川

整形外科 部長 松村

皮膚科 部長 川村

内科 部長 保国

胃腸科 部長 隆太郎

呼吸器科 部長 嘉昭

小児科 部長 子瀬

産婦人科 部長 藤隆

精神科 部長 藤隆

放射線科 部長 隆太郎

本院 平市南町三

舞子浜病院 平市藤間字松原

城南分院 平市小太郎町一八

放射能ストロンチウム90解毒剤

お茶で放射能脅威から

人体を守ろう

大勝園茶舗

平市三丁目

新発売!

大門印「ほうじ茶」

鳳凰印「ほうじ茶」

電二三九六

平の代表的土産品

平の生んだ世界的作曲家八橋検校の
作曲せる名曲「六段の曲」を記念する

六段最中

平 凡 平駅前

電 2,506

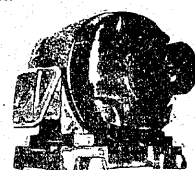
平競輪

発走 12時

前節 2月16・17・18

後節 23・24・25

3月競輪 16, 17, 18, 23, 24, 25日



◎電動機変圧器
◎電気熔接器
具 修理販売

大沼電機工業所

西村柳一

平市新川町TEI(平) 2647

東洋酒販株式会社

平市福宜町電 3188